



DIRECT! EXTREME

Extreme Speed Data Logistics Service

**企業間・拠点間
超高速大容量データ転送サービス
紹介資料**

日本ワムネット株式会社

Ver.3.1.6

サービス提供会社

会社名	日本ワムネット株式会社 
所在地	東京都中央区新川1-5-17 エイ八新川9F
設立	1999年8月30日
株主構成	株式会社ティーガイア、Savvis Inc.
事業内容	映像、出版、音楽、ゲーム、印刷業界向けデータ伝送サービス事業 ビジネスユース向けセキュア・ファイル送受信/共有サービス事業 ハウジング及びホスティングサービス事業 VPN監視サービスを含むネットワーク・マネージド・サービス事業 ネットワーク・システム・インテグレーション事業他

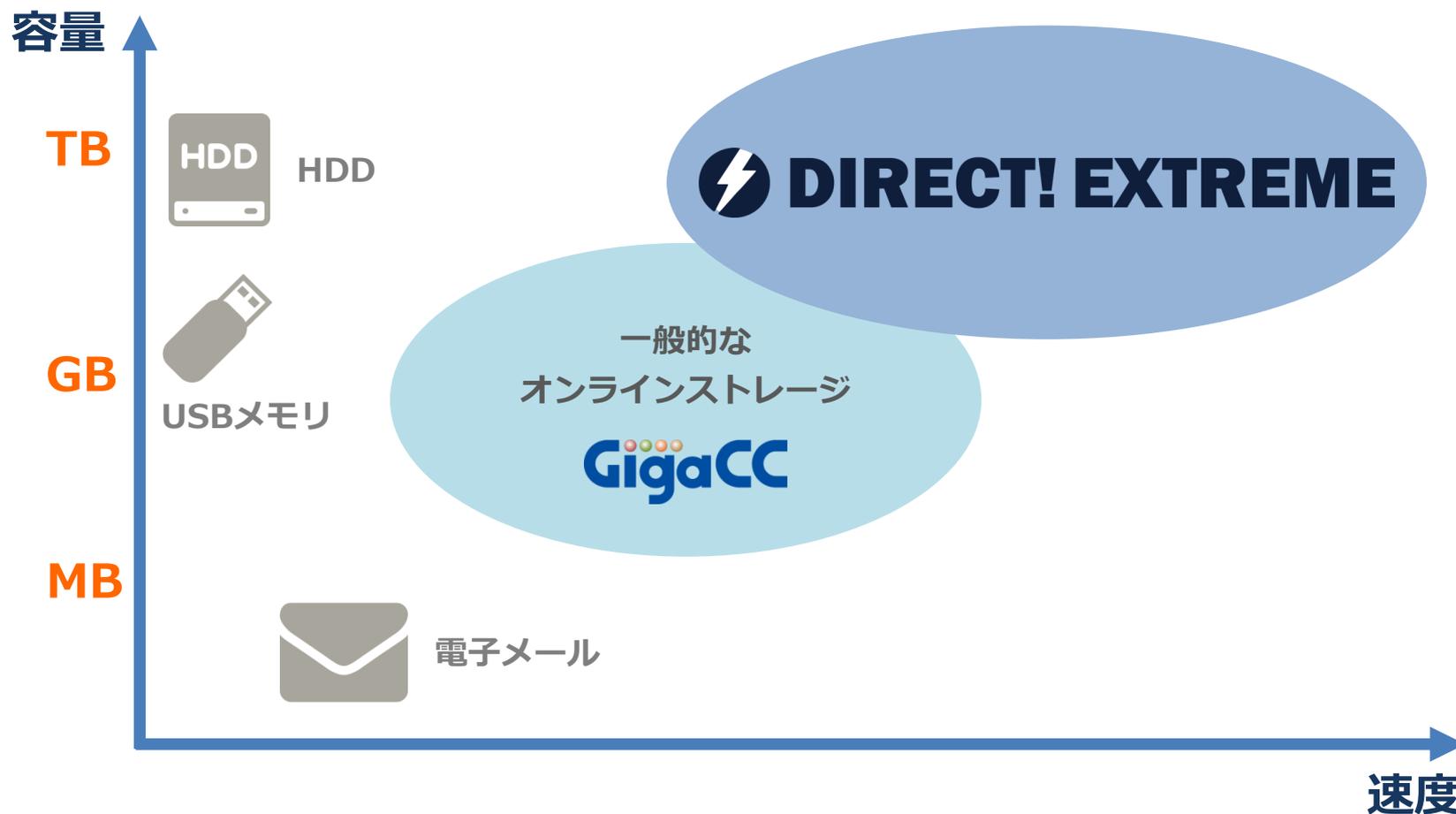


大容量データ転送にまつわる課題

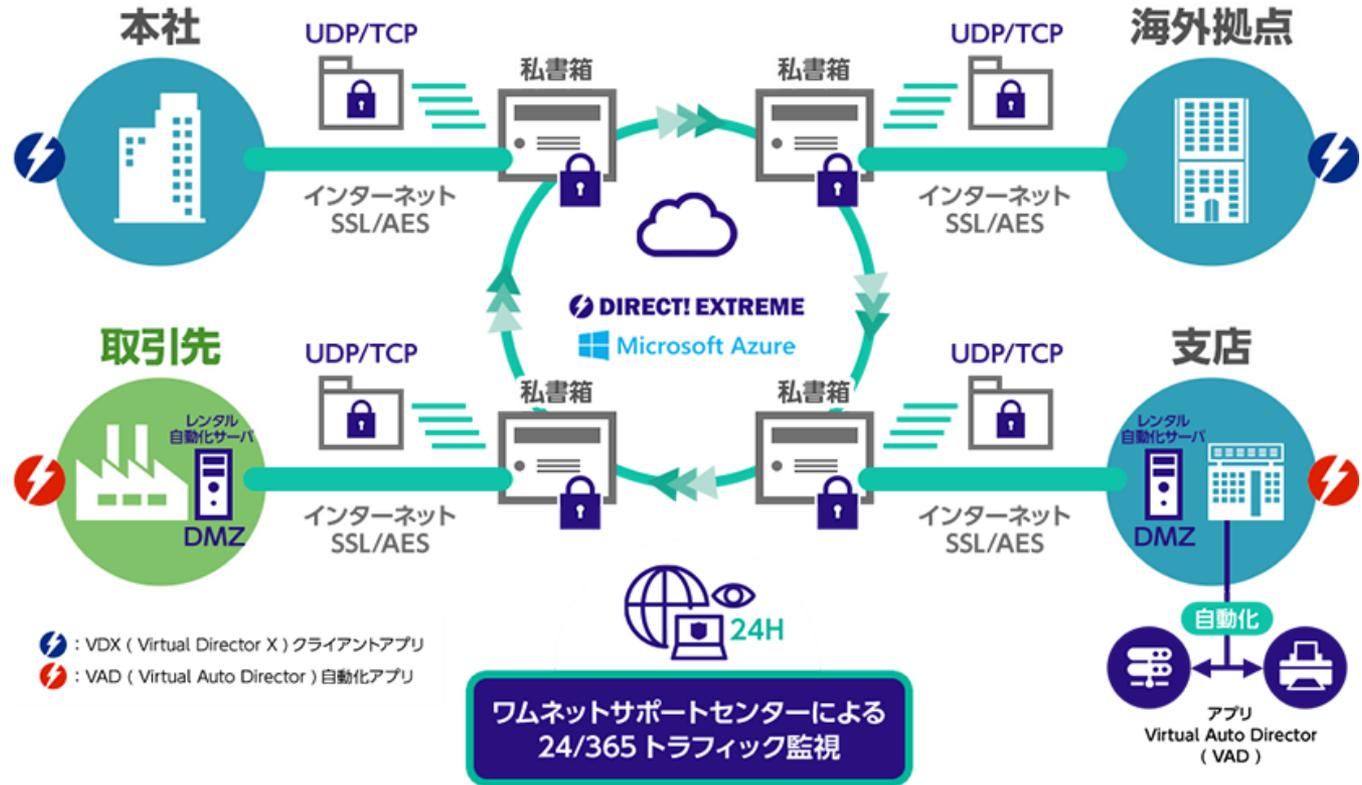
- ・ 容量が膨大なファイルの送受信に時間が掛かる
- ・ HDD/USBなどの物理媒体を使用したくない
- ・ セキュアに公開前のコンテンツを運びたい

etc...

サービスの位置付け



サービス概念図



ポイント **1** . . . 超高速大容量データ転送

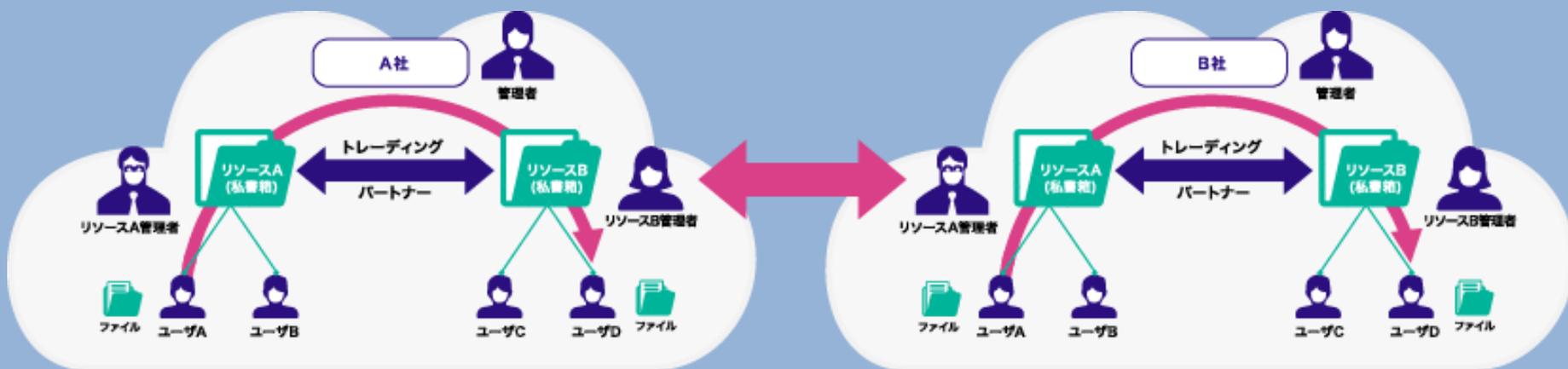
ポイント **2** . . . 企業向けセキュリティ

ポイント **3** . . . 短期プロジェクト利用

サービス利用イメージ

利用者（ユーザ）は、クラウド上に用意される「私書箱」の役割を果たす「リソース」間でファイルの送受信を行います。

リソース間の送受信設定（トレーディングパートナー）を行い、リソースとユーザの紐付け設定を行うことで利用可能となります。



DIRECT! EXTREMEの特徴

異なる契約のユーザどうしても、お互いの管理者が申請及び許可することにより、両者ユーザIDをそのまま利用して大容量データ転送を行うことが可能です。

サービスの特徴



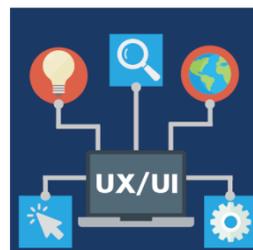
スピード



セキュリティ



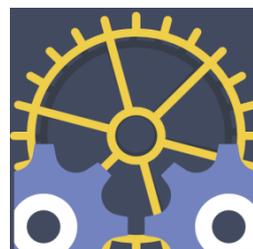
大容量



**優れた
UX/UI**



**スケーラ
ビリティ**



自動化

ベンチマーク（一般的なブラウザによる通信との比較）

海外や遠距離など低品質回線でのファイル授受に最適（パケット遅延・パケットロスに強い）

通常のTCPを利用したHTTPやFTPなどのプロトコルによる通信では、受信確認の仕組みにより、遅延やパケットロスの大きな拠点間の通信で実行速度が大きく低下します。

DIRECT!EXTREMEは、UDP上で動く独自プロトコル[※]の実装により、パケット遅延やパケットロスなどに左右されることなく、回線帯域を効率よく使い大容量ファイルを高速且つ確実に転送することが可能です。

パケット遅延に強い！

<パケット遅延時>

※ 独自UDP 対 TCPマルチセッション：

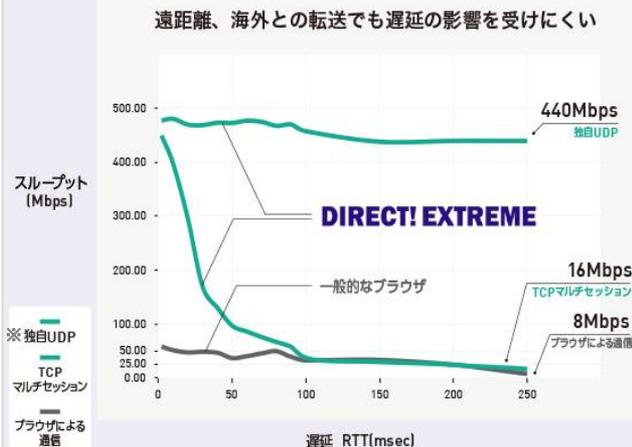
最大**28**倍

独自UDP 対 ブラウザによる通信：

最大**55**倍

時間におきかえると
これまで「**10**時間」かかっていた

業務が約「**11**分」に短縮



パケットロスに強い！

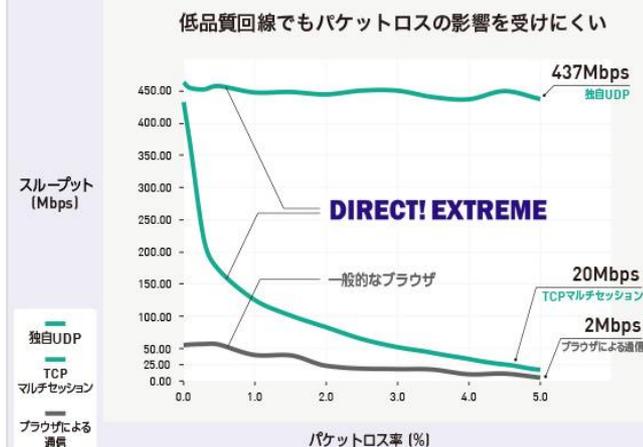
<パケット遅延時>

独自UDP 対 TCPマルチセッション：

最大**22**倍

独自UDP 対 ブラウザによる通信：

最大**219**倍



ベンチマーク前提条件 ファイルサイズ:1GB 回線:1Gbps（ベストエフォート）

※独自のUDP通信プロトコルは、株式会社TBSテレビの特許技術です。



2TB/
1File

超大容量

DIRECT! EXTREMEでは、1ファイルあたり**最大2TB**までのデータを転送することができます。(VDX: Virtual Director X利用時)
一度に送信できるファイル数は無制限ですので、ハードディスク、アーカイブされたデジタル資産をそのまま全て転送することが可能です。



スピード

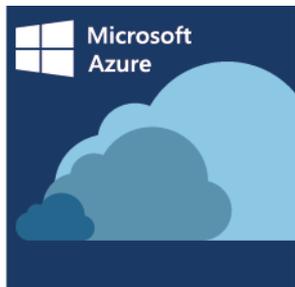
DIRECT! EXTREMEは高速モード・通常モードの2つの転送モードを用意しています。

高速モードの場合、**独自UDPプロトコル^{*}+オンザフライ機能^{*}**によって、超高速データ転送が可能になります。

(VDX: Virtual Director Xの利用が必要になります)

特徴③

スケーラビリティ



パブリッククラウドプラットフォームとして

Microsoft AzureTMを採用。

回線帯域、データ容量、アクセス数などの急激な増加にも柔軟に対応可能。

特徴④

セキュリティ



すべての
アクションログ履歴



チェックサム機能



通信経路
SSL暗号化



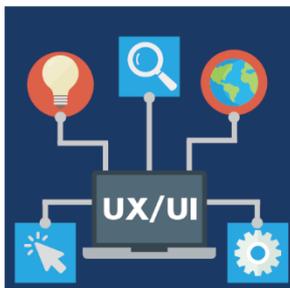
コンテンツ
AES暗号化

【DIRECT! EXTREME 通信モードごとのセキュリティ対応】

	通信方式	暗号化方式
高速モード (クライアントソフト利用)	UDP TCPマルチセッション	AES256bit *コンテンツ自体を暗号化
通常モード (ブラウザ利用)	TCP (HTTPS)	SSL *通信の暗号化

特徴⑤

UX/UI



インターネットブラウザを利用した洗練されたUX/UI。
ドラッグドロップによる簡単操作で、ITリテラシーに依存せず、
どなたでもご利用が可能。



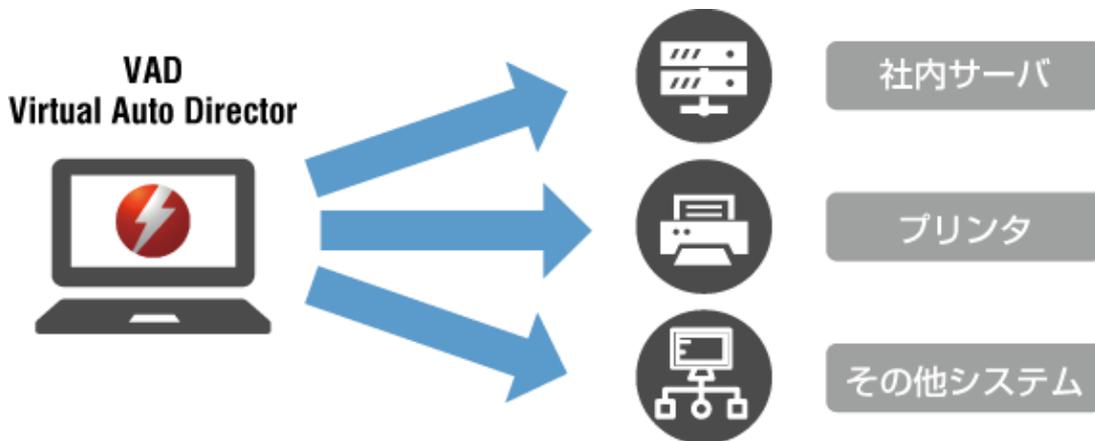
特徴⑥

自動化



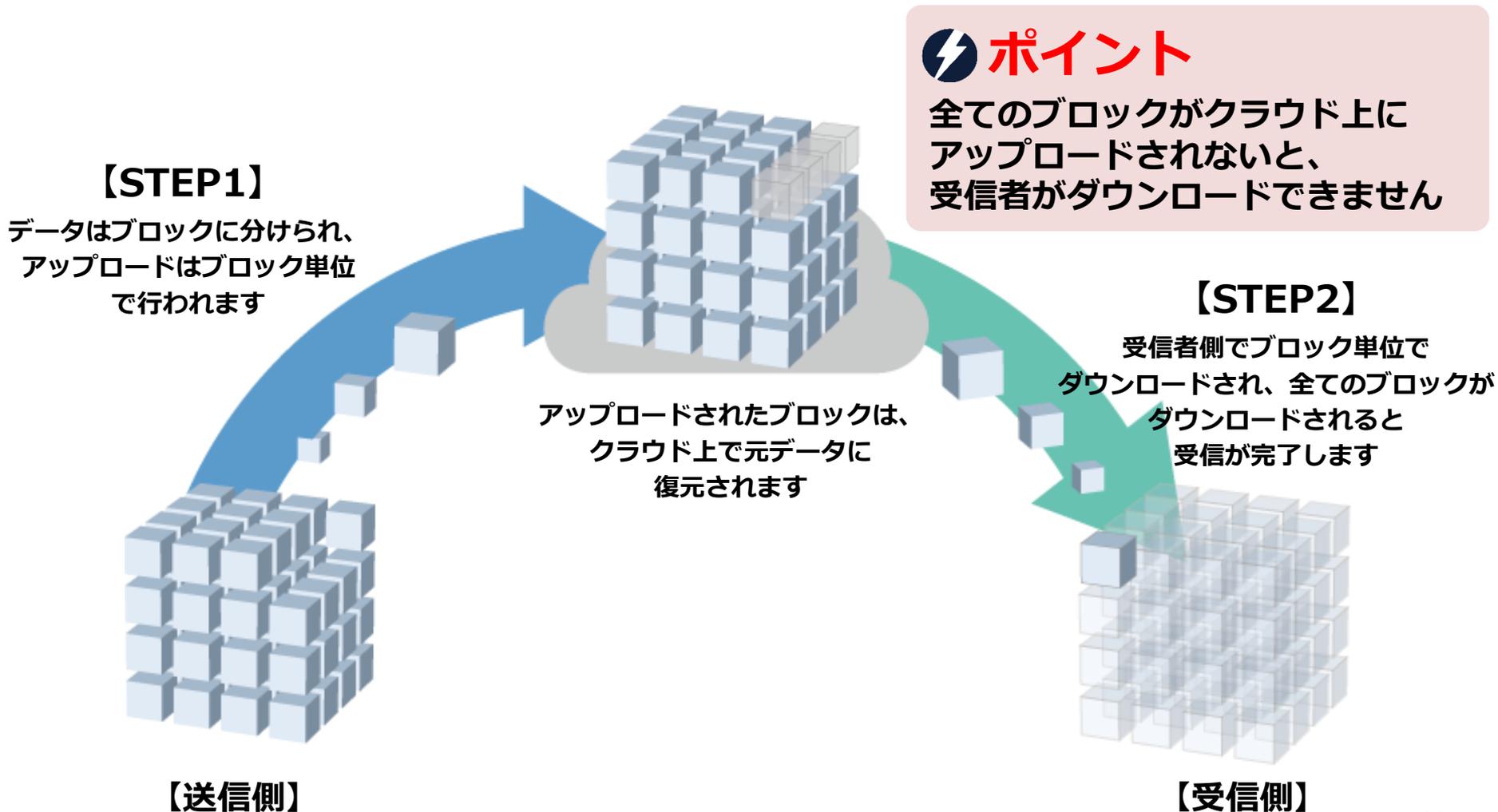
自動化ツール (VAD:Virtual Auto Director) を利用して、業務効率化を高いレベルで実現。

例) 受け取ったデータをネットワーク上のプリンタから自動出力。別サーバ上の所定ディレクトリに格納することも可能。



受信データを自動的に他のシステムに渡すことができます。

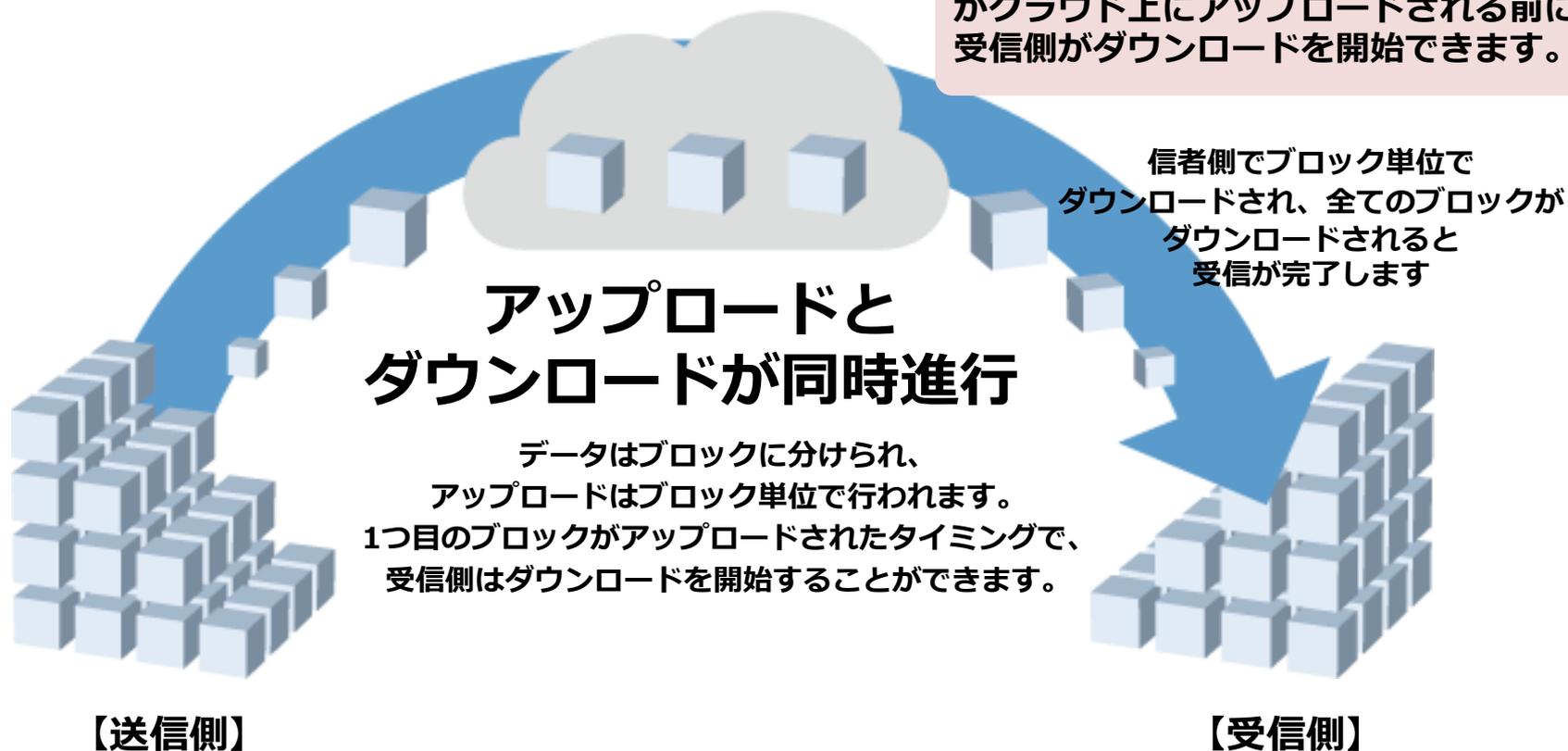
オンザフライ機能について ～一般的なファイル転送サービス



オンザフライ機能について ~DIRECT! EXTREMEサービス

ポイント

アップロード対象データの全てのブロックがクラウド上にアップロードされる前に、受信側がダウンロードを開始できます。



採用実績

～ご採用ユーザー様の一例です



集英社
SHUEISHA

小学館
SHOGAKUKAN

 **マガジンハウス**

(五十音順)

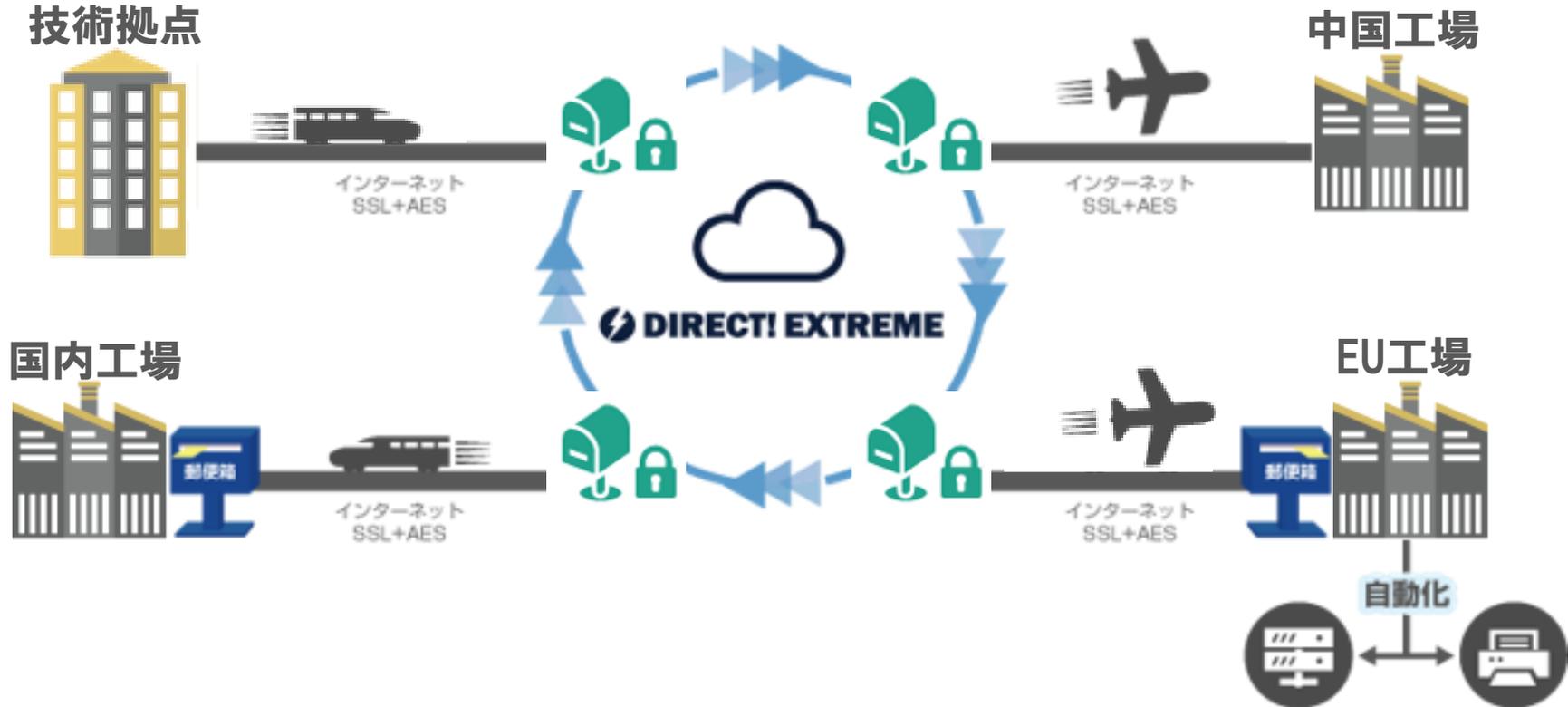
その他多くのお客様にご利用いただいています

活用例①

自動車業界での活用事例

国内外外自社・提携先工場へのCAD・CAMデータの共有で設計変更にも迅速に対応

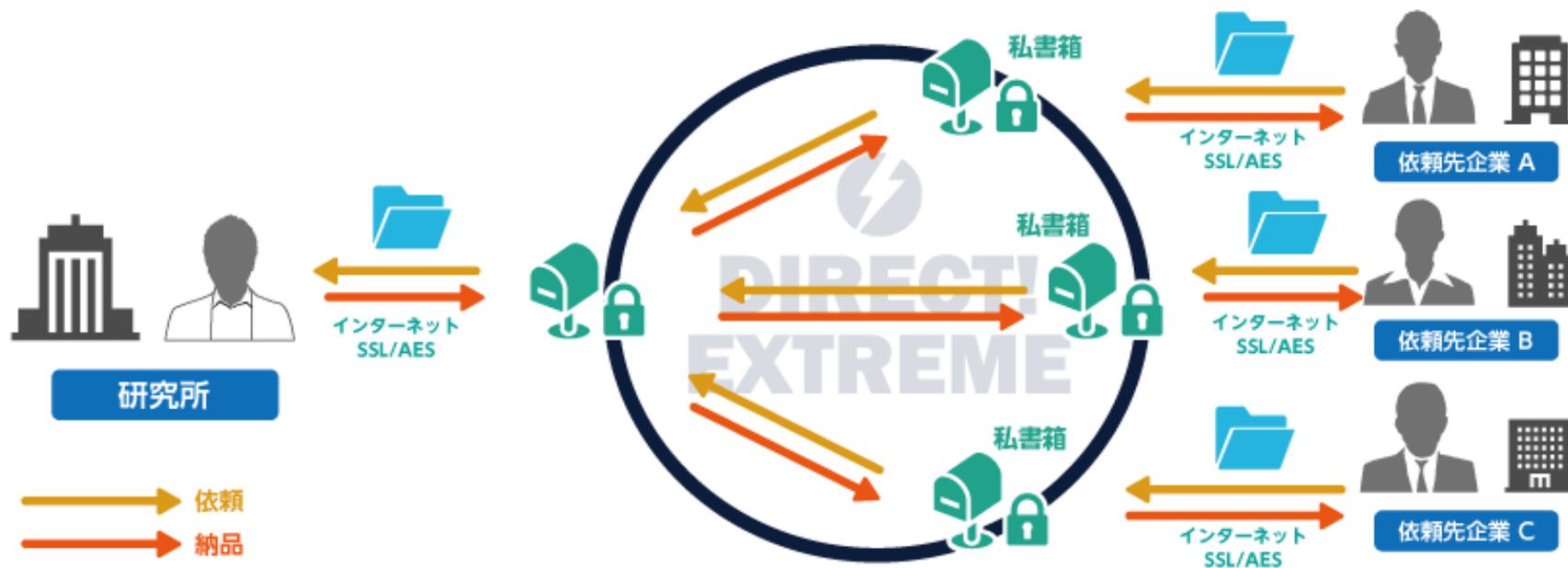
技術拠点



活用例②

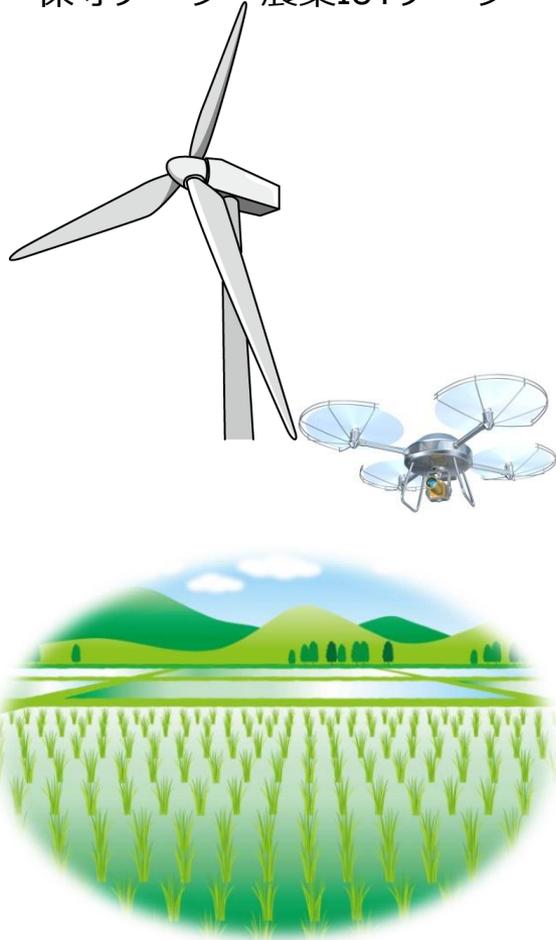
研究機関の活用例

複数の取引先とのセキュアな大容量研究・解析データの受渡しを実現。



屋外で取得した大量の画像データをスピーディーにデータ解析拠点へ転送します

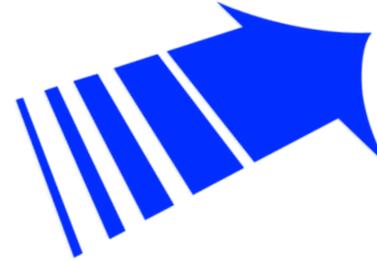
保守データ・農業IoTデータ



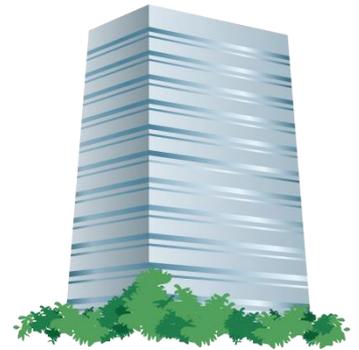
車載パッケージ



 DIRECT!
EXTREME



データ分析拠点



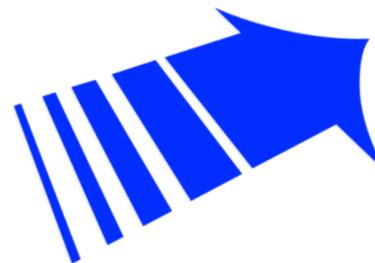
屋外で取得した大量の画像データ・点群データをスピーディーにデータ解析拠点へ転送します

レーザーキャナ・3D点群データ

データ解析拠点



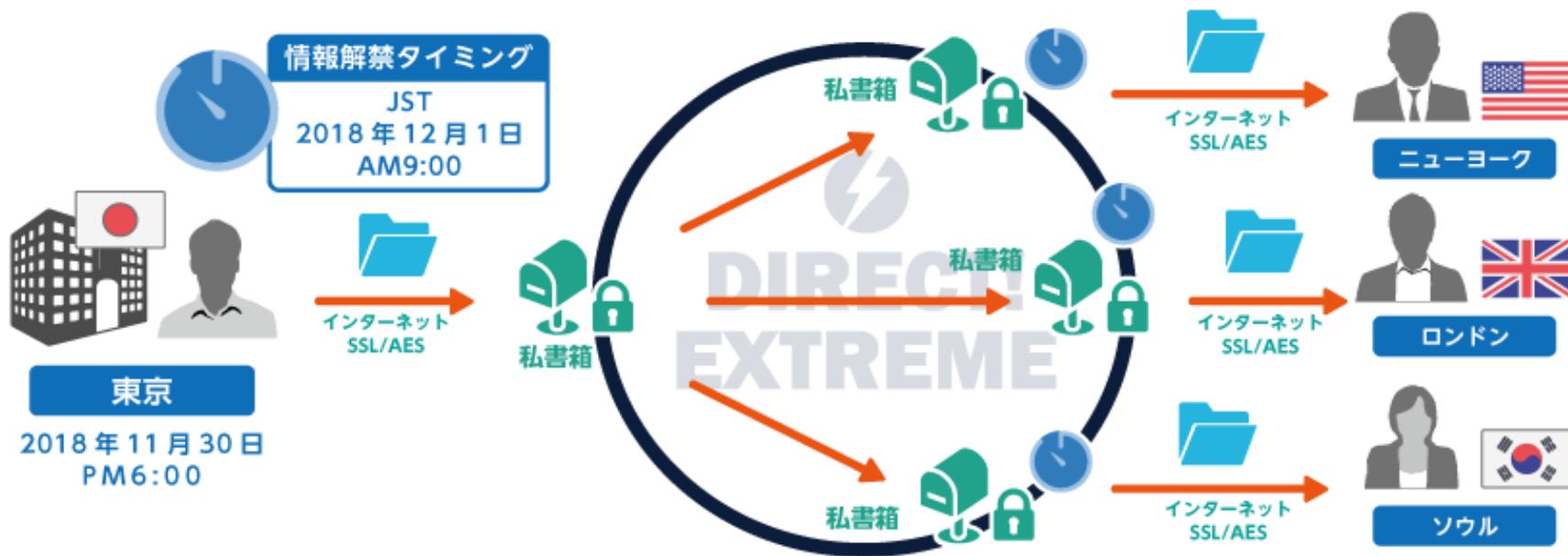
例：車載パッケージ



活用例③

コンテンツホルダー様の活用例

情報公開タイミングを合わせて、世界各国へ同時配信が可能。



動作環境

● Windows

◇ OS

- ・Windows 8.1、10

◇ ブラウザ

- ・Microsoft Edge
- ・Google Chrome
- ・Firefox

※各ブラウザの最新版

● Macintosh

◇ OS

- ・macOS 10.11~10.15、11

◇ ブラウザ

- ・Safari
- ・Google Chrome
- ・Firefox

※各ブラウザの最新版

● ネットワーク

◇ 必須環境

- ・ポート番号：TCP/443
- ※通常モード/高速モード共に利用します。

◇ 推奨環境

- ・ポート番号：UDP/6123
- ※高速モードにて利用します。
- ※インターネット方向への通信と
応答パケットの許可が必要となります。

お問い合わせ先

- ・電話：03-5117-2150 (平日9:30~18:00)
- ・メール：japan.sales@wamnet.jp

**デモ・トライアルも承ります。
是非ともご検討の程宜しくお願い致します。**

**お問い合わせ先
日本ワムネット株式会社
ソリューション営業部
japan.sales@wamnet.jp**



wamnet
Japan